

小美玉発!! 第2回

スター☆なりきり歌謡ショー

公開オーディションしました～!

バンドが生演奏! なりきって歌うのさっ。

アピオス活性化の目玉企画として誕生した「小美玉発! スター☆なりきり歌謡ショー」。今年もオーディションを受ける人々がアピオスに集結。早朝からリハーサル、衣裳の着替え、メイク、オーディション順を決めるくじ引きなど、あわただしく人が行き交う中に活気がみなぎっていました。事業担当のアピオス林さんの心配も吹き飛び、昨年より大幅増となる37組の参加。「よりいろんな方々に本選に出場いただきたい」という意向から、前回の本選出場者には高いハードルを課しましたとは花岡審査委員長の弁。みな緊張しながらも、スターになりきって競っていました。2時間を超える熱き戦いは、誰が選ばれてもおおしくないほど甲乙つけがたく、審査員の方々の苦労が分かる気がしました。

本選出場が叶ったのは、予定より1組多い16組。今後、審査委員長の花岡先生の厳しい(?)レッスンを受け、なりきりスターの卵たちがどこまで成長するのか、そんな楽しみもできました。

3月21日(月・祝)に行なわれる本選では観客も審査員になれます。あなたもぜひ応援に来てください。
 <みのんば編集局 福島ヤヨヒ>

2010.11.14 Apios



“みかんの花咲く丘”を歌い、見事本選出場者に選ばれた、君山陽子さん・ひかるさん母娘



“千の風になって”古俣和雄さん 地元中学生の2人も合格に喜びの表情 花岡審査委員長より合格の発表 “天城越え”前島京子さん

“やってみよう”その一步が大事。

アピオス活性化委員会 は、単なるお手伝いではなく、自ら企画し実施していく楽しみがあると語る田村さん。ひとりの力から、大きな活動へ。だからこそ「みんな一人ひとりが活性化に必要な力」。“やってみよう”の一步から、新しいことに前向き

にいける。今年で18年目、平成21年度に文部科学大臣賞を受賞した、お話し会「夢いっつと」の代表としても活躍し、忙しくも充実の日々。「年をとるのがこわくない」と、きらきら話す田村さんに脱帽でした!
 <みのんば編集局 野手利江>

たむら ともこ
田村 智子さん
 小川文化センター活性化委員会
 アピオスばるす
 絵本とお話し会「夢いっつと」代表

Apios
 Volunteer



REPORT 県内6地区50校の中から予選を経て選出された11校による大会 第24回茨城県高等学校演劇祭

2010.11.13~14 Minole

24回目の歴史の中で、初めてみの〜れで開催された高校演劇祭。県内6地区50校の中から選出された11の代表校が出場しました。演技を終え、審査員の先生から各校ごとに適格なアドバイスがあり、高校生たちは熱心にメモをとりながらその言葉に耳を傾けていました。県内各地の高校生にとって、このみの〜れの舞台が思い出の場所になってくれればうれしいです。優秀賞のうち、茗溪学園高校、土浦第一高校は関東大会に出場します。両校のご健闘を期待します。

<みのんば編集局 酒井和美>



茗溪学園高校



土浦第一高校



日立第一高校

REPORT 次世代の文化リーダーを育成する みの〜れデベロップスクール “バ”流パックスツアー2010

2010.10.24 Minole



学生から社会人まで、様々な“異業種”が集まった「みの〜れDS」。『夢』をカタチにする「ドリームツリー」の制作から始まり、グループごとに『会社』を設立。異業種ならではの個性を生かした『会社』は、とても刺激的でした。『チャット』は私も参加し、そのスピード感に圧倒され

ばなし! 35歳という年齢制限があるものの、私も充分学ぶことができました。ちなみに、今回のタイトル『バ流パックスツアー』の『バ流』とは、「バリュー」(価値・真価・意義)の意味だそうです。今後の活動に期待します!
 <みのんば編集局 小松崎由美子>

REPORT 冬から秋に時期を移して行いました 茨城県芸術祭 いばらきビッグバンドジャズフェスティバル

2010.10.17 Minole



満員の森のホール。小学生からシニアまで12団体が参加したジャズフェスティバル。トランペットを吹いた男子高校生は、「今年初めて参加したが、満員の観客と大きな舞台で演奏できてとても気持ち良かった」と語ってくれました。観客は、見るからに若い頃からジャズが

好きそうな熟年の姿が目立ちました。ジャズカフェでは、コーヒー、クッキー、ケーキなどのお店に行列ができ、ジャズで溢れ、老若男女、賑やかで楽しいジャズフェスティバルの1日でした。

<みのんば編集局 小原エミ>